

森友公文書改ざん、裁量労働制データねつ造、自衛隊日報隠へい

3000万署名を広げ、内閣総辞職へ追い込もう

岡崎市つどいに井上、本村氏



井上哲士参院議員と本村伸子衆院議員は1日、愛知県岡崎市の党後援会の春のつどいに参加しました。つどいには100人が参加しました。

井上氏は、森友公文書改ざんで揺れる国会情勢を報告し、「真相解明を妨害しているのは安倍政権だ。付度(そんたく)で、国家公務員が犯罪行為や自ら命を絶つのか、背後に大きな力があつたのではないか。野党6党が結束して追及を続けている。内閣総辞職に追い込もう」と話しました。

本村氏は、「安倍首相は自衛隊日報、裁量労働制、森友問題で無責任な答弁を続けている。国会に出てくる資料が本物でなければ、議論も質

## 改正公害健康被害補償法が成立 全公害患者の救済を 参院環境委でたけだ氏

大気汚染認定患者への補償給付に充てる自動車重量税の一部交付を延長する改正公害健康被害補償法が、3月30日の参院本会議で全会一致の賛成で成立しました。武田良介議員は29日の参院環境委員会での質疑で、患者を最後の一人まで救済するよう要求しました。

武田議員は、同案が重量税からの交付を「当分の間」延長するとしているが、最後の一人まで救済することと質問。これに対し、中川雅治環境相は「最後の患者さんまで救済する」と表明しました。

武田議員は、名古屋と愛知県東海市で、同法の区域指定解除後も大



気汚染が環境基準を超えていた実態を示し、「よい薬ができて



島津前議員 facebook 4月2日【静岡市】  
「高校生なの?」「いえ、小学生です」「ええー」。静岡県革新懇の3000万署名行動。容姿もそうですが、「戦争はいや」「平和を守ってほしい」ということばに驚き、感心。きょうの行動は、春休みの中の多くの若いみなさんが署名してくれました。心強い。

自民党議員と文科省による不当な介入を許すな!  
緊急抗議シンポジウム  
4月7日(土)午後2時  
名古屋市総合社会福祉会館 大会議室(北区役所7階)  
【パネリスト】  
●折出健二さん(愛知教育大学名誉教授)  
●武田良介さん(党参議院議員)  
●学校現場からの報告  
主催・党名古屋北西地区委員会

も50メートル歩けば、しゃがみ込む。ぜんそくが治ることはない」という患者(82)の声などを紹介。身体的・精神的被害は続いていると訴えまされた。中川大臣は「大変なご苦勞をされておられると改めて感じた」と応じました。

武田氏は、東海市が疾病の原因は大気汚染だと「十分に推察される」として、市独自の特定疾病患者医療費助成制度でぜんそく患者を救済し続けている一方で、原因が明確ではないとしてすべての患者を救済しない国を批判。すべての被害者が救済されるよう、国とメーカーの責任で新たな医療費助成制度を創設すべきだと主張しました。

### ◆ 公害健康被害補償法

大気汚染や水質汚濁が深刻な指定地域に一定期間在住または通勤して気管支ぜんそくなどにかかり、公害病患者と認定された人に対して医療費を支給し、失われた利益を補償するために1974年に施行された法律。補償を受けるためには都道府県知事等の認定を受ける必要があります。